

公的機関からの製造依頼、供給体制の一元化について

公的機関（国、非営利法人等）からメーカーへの製造依頼、供給体制の一元化を（1）支持する案と、（2）支持しない案について、これまで指摘された主な点は以下のとおり。

（1）支持する案について

メリット

- ① 国の責任が明確化される。
- ② 薬価差等企業の極端な利潤追求を招きうる要素が排除される。

デメリット

- ① 民間メーカーの技術開発のインセンティブが失われる。
- ② 独占の弊害が生じるおそれがある。
- ③ 供給を行う組織の新設に伴う実務上の負担が大。

（2）支持しない案について

メリット

製造業者は競争状態に置かれるために、自主的積極的に安全対策等に努める。

デメリット

安価な外国製品との価格差を排除できないため、国内自給の推進を阻害する可能性がある。